

旭川空港の機能充実と新千歳空港の代替空港としての活用を求める意見書

旭川空港は、国内有数の積雪地に設置されているが、万全の除雪体制を完備し、風の影響が少ない地域特性から、令和3年度の国内線就航率が99.8パーセントと全国でも上位を誇る空港である。

一方、北海道最大の空港である新千歳空港は、航空便が集中していることから過密な運用状況となっており、大雪の際には除雪作業の影響から欠航や遅延が頻発するなど、観光客やビジネス客の移動に大きな支障を来している。

旭川空港は、札幌圏へ公共交通機関での移動アクセスが2時間程度の場所に位置しており、非常に良い立地条件を有している。

よって政府においては、旭川空港の機能充実と新千歳空港の代替空港としての積極的な活用を強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

令和5年3月8日

北海道上川郡鷹栖町議会
議長 木下 忠行